

観光の基本に立ち返る

～2000年代の観光の総括とこれからの持続可能な観光のあり方～

2003年、時の小泉首相が「観光立国宣言」をし『観光立国懇談会報告書－住んでよし、訪れてよしの国づくりー』が発表されてから約20年、我が国の訪日外国人旅行者数は大きく増加し、観光業は日本の成長産業、地域活性化の切り札といわれるほど大きく成長してきました。しかし、コロナ禍までの直近数年間はインバウンドブームともいべき急成長を遂げ、観光に携わる地域は増加し、多様な事業者が参入する一方で、本来の「住んでよし、訪れてよしの国づくり」のビジョンはどの程度実現されてきたのでしょうか。

コロナ禍で立ち止まってしまった今だからこそ、本セミナーでは、「住んでよし、訪れてよしの国づくり」の観点から、2000年代の我が国の観光の歩みについて観光有識者100人の視点から検証、総括を行い、これを通じて、観光に携わる一人一人が、観光の基本に立ち返りこれからの持続可能な観光の在り方を考察する機会としたいと思います。

日時： 2022年3月11日（金）14:00-17:00（13:30開場）
会場： ベルサール御成門タワー3Fホール（180名まで）
配信： オンラインライブ配信実施（お申込みをいただいた方に後日URLをご案内します）
主催： 東京大学公共政策大学院交通・観光政策研究ユニット（TTPU）
共催： 一般財団法人運輸総合研究所、国連世界観光機関（UNWTO）駐日事務所
後援： 観光庁

■開会挨拶 東京大学公共政策大学院 大橋 弘 院長、TTPUユニット長

■基調報告「観光有識者100名アンケートの結果報告」
東京大学公共政策大学院 三重野 真代 特任准教授

■パネルディスカッション

コーディネーター：

東京女子大学現代教養学部国際社会学科コミュニティ構想専攻
矢ヶ崎 紀子 教授

パネリスト：

一般社団法人由布市まちづくり観光局 桑野 和泉 代表理事
新潟県津南町 桑原 悠 町長
株式会社経営共創基盤（IGPI） 富山 和彦 グループ会長
フランス観光開発機構 フレデリック・マゼンク 在日代表
国連世界観光機関（UNWTO）駐日事務所 本保 芳明 代表

（五十音順）

■閉会挨拶 東京大学公共政策大学院 佐藤 善信 客員教授



桑野 和泉
(くわの いずみ)

一般社団法人由布市
まちづくり観光局代表
理事

1964年大分県湯布院町(現由布市)生まれ。家業の宿「由布院玉の湯」の専務取締役を経て、2003年より代表取締役社長。由布院温泉観光協会会長を2008年より12年勤め、現在は(一社)由布市まちづくり観光局代表理事。公益社団法人ツーリズムおおいた副会長。九州旅客鉄道株式会社取締役。道守大分会議代表世話人ほか、市民グループの代表、世話人も務める。



桑原 悠
(くわばら はるか)

新潟県津南町長

1986年新潟県生まれ。2009年早稲田大学社会科学部卒業。2012年東京大学公共政策大学院法政策コース修了(公共政策学修士)。2011年から津南町議会議員(2期)、津南町議会副議長を経て、2018年に31歳で全国最年少町長として初当選。内閣官房・内閣府未来技術×地方創生検討会委員、内閣官房国・地方脱炭素実現会議委員、国土交通省国土審議会計画部会委員。



富山 和彦
(とやま かずひこ)

株式会社経営共創基盤
(IGPI)グループ会長
日本共創プラットフォーム
(JPiX)代表取締役社長

東京大学法学部卒、スタンフォード大学経営学修士(MBA)、司法試験合格。ボストンコンサルティンググループ、コーポレートディレクション代表取締役を経て2003年産業再生機構設立時に参画しCOOに就任。解散後、2007年経営共創基盤(IGPI)を設立し代表取締役CEO就任。2020年10月よりIGPIグループ会長。2020年日本共創プラットフォーム(JPiX)を設立し代表取締役社長就任。パナソニック社外取締役。経済同友会政策審議会委員長、他政府関連委員多数。近著に『新L型経済 コロナ後の日本を立て直す』(角川新書)他。



Frédéric MAZENQ
(フレデリック・マゼンク)

フランス観光開発機構、
在日代表、アジア・太平洋・
中東地区総括責任者

1973年南フランス生まれ。1994年パリ政治学院(政治学・国際関係学部)卒業。1995年慶応義塾大学で一年間交換留学生として日本語学習。1997年パリ政治学院大学院政治学修士号取得。在日商工会議所プロモーション担当を経て、2000年フランス政府観光局に転職。2006年から在中国フランス観光開発機構の局長代理、局長として9年間北京勤務。2015年から現職。2017年から駐日外国政府観光局協議会(ANTOR)会長。



本保 芳明
(ほんぼ よしあき)

国連世界観光機関(UNWTO)駐日事務所代表
東京都立大学客員教授
東武トップツアーズ株式
会社取締役会長

北海道出身。1974年東京工業大学大学院修士課程修了。同年運輸省に入省。経済協力開発機構(OECD)日本政府代表部勤務、運輸省政策局観光部観光企画課長、国土交通省大臣官房審議官、日本郵政公社専務執行役員等を経て2008年観光庁設立とともに初代長官に就任。首都大学東京教授(ツーリズムコース)、世界観光倫理委員会委員等を歴任。2016年に国連世界観光機関(UNWTO)駐日事務所代表、2021年に東武トップツアーズ株式会社取締役会長に就任。2019年瑞宝重光章受賞。



矢ヶ崎 紀子
(やがさき のりこ)

東京女子大学 現代教
養学部国際社会学科
コミュニティ構想専攻
教授

北海道出身。国際基督教大学教養学部社会科学部卒業。九州大学大学院法政学専攻修士課程修了。1987年住友銀行に入行。日本総合研究所総合研究部門主任研究員、国土交通省観光庁参事官(観光経済担当)、首都大学東京都市環境学部特任准教授、東洋大学国際観光学部教授を経て、2019年4月から現職。日本貨物鉄道社外取締役、東武鉄道社外取締役、東日本高速道路社外監査役、(一財)運輸総合研究所理事。国土交通省交通政策審議会観光分科会会長、他政府関連委員多数。



大橋 弘
(おおはし ひろし)

東京大学公共政策大学
院院長
TTPUユニット長
東京大学大学院経済学
研究科教授

東京都出身。東京大学経済学部卒、ノースウェスタン大学経済学博士号取得。ブリティッシュ・コロンビア大学(カナダ)経営・商学部助教授、2003年東京大学大学院経済学研究科助教授、同准教授を経て、2012年より同教授。2020年東京大学公共政策大学院院長に就任。経済安全保障法制に関する有識者会議委員、他政府関連委員多数。近著の『競争政策の経済学—人口減少・デジタル化・産業政策』(日本経済新聞出版社)は第64回日経・経済図書文化賞受賞。



佐藤 善信
(さとう よしのぶ)

東京大学公共政策大学
院客員教授
一般財団法人運輸総合
研究所理事長

京都府出身。1982年東京大学法学部卒業。同年運輸省に入省。航空局空港部長、航空局航空ネットワーク部長、航空局次長、観光庁次長、海上保安庁次長、航空局長を経て、2017年に国土交通省を退職。2019年4月から東京大学公共政策大学院客員教授、同年8月から一般財団法人運輸総合研究所理事長に就任。



三重野 真代
(みえの まよ)

東京大学公共政策大学
院特任准教授

1980年大分県生まれ。京都大学経済学部卒、ロンドンスクールオブエコノミクス(LSE)都市政策修士号取得。2003年国土交通省に入省。観光庁観光資源課専門官、国土政策局総務課課長補佐、京都市役所産業観光局観光MICE推進室観光戦略部長勤務、総合政策局環境政策課課長補佐、復興庁企画官(観光担当)を経て2021年より現職。昨年『グリーンスローモビリティ～小さな電動車が地域と公共交通を変える～』(学芸出版社)を編著出版。

(五十音順)

参加登録方法

右のQRコード又は下記リンクから
3月4日(金)までにお申し込み下さい。
<https://krs.bz/jterc/m/seminar220311>



事前登録制・入場無料

会場参加される方は、受付メールを印刷し、
当日、受付にご提示ください。

※新型コロナウイルス感染症拡大の影響により
開催方法を変更する場合があります。

会場アクセス

ベルサール御成門タワー

東京都港区芝公園1-1-1 住友不動産御成門タワー3F

- 「御成門駅」A3b出口直結(三田線)
- 「大門駅」A6出口徒歩6分(大江戸線・浅草線)
- 「浜松町駅」北口徒歩10分(JR線)
- 「モノレール浜松町駅」北口徒歩11分(東京モノレール)

※近隣には「ベルサール御成門駅前」がございます。
お間違えのないようお気を付けてください。

